

礼拝式次第

2023. 3. 26. 四旬節第5主日(紫)

司式：笠原光見

説教：李正雨

讃美歌	167 番【いざや声あげて】
み名による祝福	司) 父と子と聖霊のみ名によって。 会) アーメン
罪の告白	司) 父なる全能の神よ。 全員) 私たちは生まれながら罪深く、けがれに満ち、思いとことばと行いとによって、多くの罪を犯しました。私たちはみ前に罪をざんげし、父なる神の限りないあわれみにより頼みます。 司) あわれみ深い神よ。 全員) み子イエス・キリストのゆえに、すべての罪をゆるしてください。聖霊によって、主と主のみ旨についてのまことの知識を与え、また主のみことばへの従順な心を私たちに与えてください。
ゆるしの言葉	司) 天の父、全能の神は、私たちを憐み、私たちのためにその独り子を死に渡し、これによって、すべての罪をゆるしてくださいました。また、み名を信じるものには、神の子となる資格を与え、聖霊を注いでくださいます。信じて洗礼を受ける者は救われます。主よ、私たちすべての者に、この恵みをお与えください。 全員) アーメン
聖書朗読	ヨハネによる福音書 11：45～57 / 新約 190 ページ
説教	ラザロ、光と暗闇の話 / 李正雨師
信仰告白 (使徒信条)	天地の造り主、全能の父である神を、私は信じます。そのひとり子、私たちの主イエス・キリストを私は信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちから復活し、天にのぼられました。そして全能の父である神の右に座し、そこから来て、生きている人と死んだ人とをさばかれます。聖霊を私は信じます。また聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン
祈りのとき	(しばらくの時、皆様それぞれの心にある祈りを神さまに注ぎだしましょう)
主の祈り	天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来らせたまえ。み心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日ごとの糧を今日も与えたまえ。われらに罪を犯すものを、われらがゆるすごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄とは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

祝福	<p>司) 主があなたを祝福し、あなたを守られます。 主がみ顔をもってあなたを照らし、あなたを恵まれます。 主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わります。 父と子と聖霊のみ名によって 全員) アーメン</p>
讃美歌	302 番【ああ罪のくさに】

讃美歌 167 番【いざや声あげて】	讃美歌 302 番【ああ罪のくさに】
<ol style="list-style-type: none"> 1. いざや声あげて たたえまつれ、 み使いもうたう 主なる神を。 2. みいつ満ちあふる 造りぬしに 喜びのうたを 捧げまつれ。 3. 生まれたる日より われをまもる ちからなる神を われらたたう。 4. うちに喜びを あふれさせて 悲しみを除き やすきをたもう。 5. ふかき主の恵み とわに絶えず いのちあるかぎり み名をたたえん。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ああ罪のくさに 堅くつながれて 悪魔の力に われはおじまどう。 2. この世のすべても 今はただむなし 黄金も宝も 安きをあたえず。 3. 主はわがあがない またき救い主 われらのためとて 血を流したもう。 4. 小羊主イエスは みずからを捨てて 罪のふかみより われを救いたもう。 5. 自由をあたえる 愛の主キリスト 恵みのみ神を ほめたたえまつらん。